

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2011

文化通

春

3月1日発行(季刊)



金丸座名物「木戸芸者」見参!

春恒例の四国こんぴら歌舞伎大芝居がやってくる。今年は九代目松本幸四郎丈、市川染五郎丈親子を中心に16日間32回公演が予定されている。

江戸時代に芝居小屋の木戸で景気をあおり、客を集めた「木戸芸者」をこんぴらで再現。勘三郎さんにも大受けで、大向こうを頂いたとか「よっつ！ラーメン屋」。(4ページに開連記事)

受け継がれ、極められた伝統の技

四国こんぴら歌舞伎大芝居金丸座・してやったりの木戸芸者見参!

3月から5月までの茶華道・イベント情報を提載

財団活動のお知らせ

受け継がれ、極められた伝統の技

次代に伝えていく香川の伝統的工芸品

新たに三名を香川県伝統工芸士として認定

古くから海上交通の要衝として開けた香川県には、豊かな風土の中で育まれ、人々の手から手へと受け継がれてきた工芸品が数多くあります。

県では、これらの工芸品の製造に長年にわたり携わられ、特に優れた技術と人格を兼ね備えた方を毎年「香川県伝統工芸士」として認定しております。

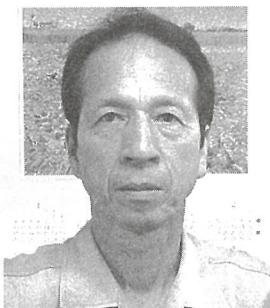
今年度も新たに三名の方を、伝統工芸士に認定し、平成二十三年二月二十八日に県庁で伝統工芸士認定式を行いました。

伝統工芸士三名の

極められた技

讃岐の鋳造品、

獅子鉢について



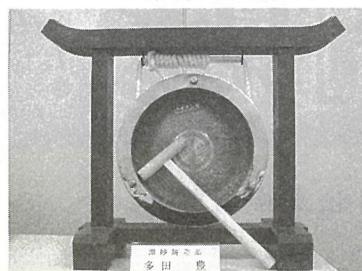
多田 豊さん

新たに伝統工芸士に認定されたのは、
多田豊さん、三好澄子さん、平川博さん
の三名で、香川県が指定する伝統的工

芸品である「讃岐鋳造品(さぬきちゅう
ぞうひん)」、「高松和傘(たかまつわが
さ)」、「庵治産地石製品」、それぞれの
分野で長年に渡り素晴らしい技術を磨
いてこられました。

今回、工芸士の認定を受けた三名の
方の極められた技の一端について、お話を
お聞きしました。

砂と土で作った鋳型に流し込みます。



獅子鉢

この度は、名譽ある伝統工芸士に認定して頂き有難うございます。

今後も讃岐の秋祭りの主役でも
夫で割れない鉢を作るために、試行錯誤
を続け、常に研究が必要だと感じています。

お客様の求めている、音色が良く丈
夫で割れない鉢を作るために、試行錯誤
を続け、常に研究が必要だと感じてい
ます。

主役でも

丈

夫で

試行錯誤

を

続け

常に

研究

必要

だ

と感じ

て

い

ます

う努めてい
ます。

くとともに、後継者育成にも、力をそそいで参りたいと思っております。

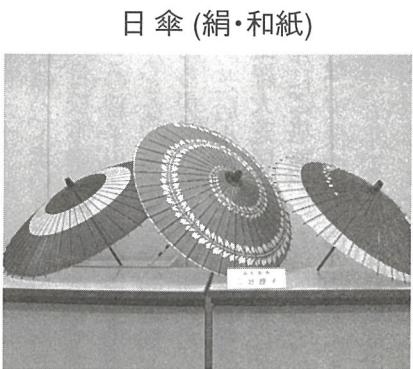


三好 澄子さん

この度は、名譽ある伝統工芸士に認定して頂き有難うございます。
獅子鉢の製作工程を簡単に紹介いた
します。材料は主に「銅」が約九割、
「錫」が約一割です。それを坩堝(ルツボ)
に入れて、一千二百℃前後の温度で溶解し、
工程)や竹骨の組み立て、仕上の漆入れ

など、様々な工程を、ご要望に応じて体験いただいております。制作した作品は仕上げてお持ち帰りいただいております。

体験講座を通して多くの方々に出会いましたが、高松で和傘を作っている所あるのを知らなかつたと言う方もいらっしゃいました。この度、伝統工芸士の認定をいただき、改めて地元の一大産業だった高松和傘を後世に伝え、さらに発展するよう精進に努めたいと思つています。



日傘(絹・和紙)



平川 博さん

世界的に銘石として知られる「庵治

石(あじいし)」は、四国本土最北端の町、工夫を心掛けて取り組んでいます。これまで、庵治石製品という伝統的工芸品の製造に携わつてこられたことを誇りに思っています。これからも、皆様のニーズに応えられるよう、さらに技の研鑽に励むとともに、後輩達への技術指導や庵治石産地の発展に力を入れています。庵治石の特徴は、石英、長石、黒雲母といったひとつひとつの成分が小さく、緻密なことから風化に強く、水分を通しにくいで数百年の年月に耐えることと、磨けば磨くほど光沢がでる最高級な石材であるところです。

石彫は、まず押し切りといつて、庵治石の原石をコヤスケといわれるクサビ型の金槌と石頭(セツトウ)といわれる金槌を使って大まかな枠取りを行い、その後、のみぎりといつて、ノミと石頭を使って大きな輪郭を彫つた後、1打、1打丹念に彫刻を施していきます。作品によっては、ビシャンといわれる肉きりのようないかんを使つて表面を滑らかにする仕上げを施したりもします。このようにして、庵治石の特徴を最大限に生かした七福神やお地蔵さん、観音様、十二支やかえる、ふくろう等を制作しています。

私は、石彫の技は無限大であると常々感じており、仏像などの他に石臼(コー)ヒー用・抹茶用・そば用)やビアジョッキ、茶碗など他の職人が作つていない(簡単に作れない)作品の制作にも、日々創意

これまで、庵治石製品という伝統的工芸品の製造に携わつてこられたことを誇りに思っています。これからも、皆様のニーズに応えられるよう、さらに技の研鑽に励むとともに、後輩達への技術指導や庵治石産地の発展に力を入れています。庵治石の特徴は、石英、長石、黒雲母といつたひとつひとつの成分が小さく、緻密なことから風化に強く、水分を通しにくいで数百年の年月に耐えることと、磨けば磨くほど光沢がでる最高級な石材であるところです。

布袋さん



庵治産地石製品
平川 博

県伝統工芸士の認定制度

伝統的技術の維持向上と習得意欲の高揚を図り、後継者の確保と次代への継承を促進するために、平成六年度に伝統工芸士認定制度を創設し、①高度な伝統的技術を有し、②実務経験年数が二十年以上で、現在もその製造に直接從事しており、③工芸品の振興に係る事業等の推進に貢献しており、④伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有する方を、「香川県伝統工芸士」に認定しております。

平成二十二年度の三名を加え、現在

百十五名の方を香川県伝統工芸士として認定しています。

《香川県の伝統的工芸品》

(三十七品目)

香川漆器、讃岐桶樽、欄間彫刻、組手障子、肥松木工品、志度桐下駄、讃岐「刀彫、桐箱、長火鉢、菓子木型、讃岐提灯、高松和傘、一閑張／貢張、丸龜うちわ、香川竹細工、竹刀彫、古式壺、神懸焼、岡本焼、讃岐裝飾瓦、豊島石灯籠、庵治産地石製品、鷲ノ山石工品、打出し銅器、左官鏡、讃岐鍛冶製品、讃岐鋳造品、手描き鯉のぼり、金糸銀糸裝飾刺繡、節句人形、高松張子、高松嫁入人形、張子虎、讃岐かがり手まり

県では、香川の伝統的工芸品や伝統

工芸士とふれあつていただける機会の一つとして、「香川の伝統的工芸品展」を三越高松店において毎年十一月に開催しております。

県指定の伝統的工芸品であることを示す表示マーク。

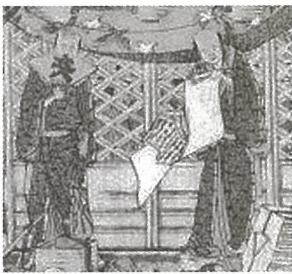


香川県伝統的工芸品

四国こんぴら歌舞伎大芝居

金丸座・じてやつたりのホ戸芸者見参！
「よつつー！ラーメン屋ー！」

琴平町商工会青年部 片岡英樹



北斎画「東都二丁目町芝居」
（国説 浮世絵に見る江戸の歳時記より）

今年も春の恒例「四国こんぴら歌舞伎大芝居」の季節がやってまいりました。数えて二十と七回目となります本公演は、十六日間で昼夜三十二回公演で、座頭に十九年ぶりに帰つてまいりました、前評判上々の九代目松本幸四郎丈、そして市川染五郎丈との親子出演。中村梅玉丈、中村東蔵丈などなど当代きっての人気どころの名優たちが勢ぞろいで出演いたしました。「江戸の芝居小屋で江戸の歌舞伎」をここ旧金毘羅大芝居、通称金丸座にて多くの皆さんにご堪能いただきたいものです。金丸座は、天保六年、南蛮で言いますところの一八三五年ですから今から一六年前に建てられました、現存いたします江戸時代に建てられました日本最古の芝居小屋として有名です。中村吉右衛門丈や中村勘九郎丈らのテレビ番組がきっかけで始まりましたこんぴら歌舞伎。昭和六〇年に第一回の公演時には、三日間昼夜五回公演でした。そのときに、私たちの琴平町商工会青年部の先輩方は、一町のビックイベントに何かお役に立ちたかったい」という思いから、木戸番、明かり窓、セリ・スッポン・廻り舞台の人力操作などを素人ながらに買って出、俳優陣ら松竹のプロの皆さんとともに、まさに縁の下の力持ちとして舞台を支えてまいりました。私たちはその絆を、まだに継承してまいります。そうしたなかで、長期間公

演となり、大道具さんなど所謂裏方さんと一緒にとなり、夜な夜な公演後に飲食をともにするようになります。そこで、まさに歌舞伎の世界の裏話や苦労話、昔話を聞かせてもらつております。そんな中で、今から3年前に私が青年部長に就任し、「なんか面白いことはできなかっただけ？」と思案していました。それが、江戸芸者と云ふのが「木戸芸者」の存在でした。木戸芸者は、江戸時代に芝居小屋の木戸（入场口）の前で、台の上にて狂言の名題・役割を読み上げたり、役者の声色（こわいろ）などを使つたりして景気をあおり、客を集めた芸人のことをいいます。今はもう絶滅した職業ともいえます。「これは歴史的史実もあり、全国で誰もやつてないなら、こんぴら歌舞伎を支えていた俺達がやつてやろう。」という、なんかもつともらしさことから構想が始まりました。ところが、資料というものがこれといつて詳細なものがなく、どんな衣装でどんな口上でどんな振付なのかが全く分かりません

でした。色々な方の伝手や知恵をたどつて着いたのが映画「写楽」でした。この中で30秒間だけ木戸芸者の場面がありました。まあまあ世にもおかしな格好に変な言い回しに振付！「これは絶対に受けました。そこを聞かせてもらつております。そんな格好悪いことなんでせないかんな。」まあそりやそうです。しかし私たちがこれに挑戦することにより、一層こんぴら歌舞伎が注目され、また琴平に来られるお客様に楽しんでもらえることなどを訴えました。これが、まさにやる気です。しかし、私は青年部長に就任して、しぶしぶ参加させました。地元の大衆劇団の座長にもアドバイスをもらい、琴平町に衣装を作つてもらい、多くの方々の応援をいたいで、デビューしました。自分たちが歌舞伎役者になつたつもりで頑張りました。松竹関係者にはばれない様に遠慮しながらやつたのですが、「これは毎日やれば？」とお墨付きまでもらい、最初の年は5回公演？しました。私たちに思ひがけない反応がありました。マスコミ関係者が興味を持ったのです。狙いどおりかもしれません。新聞やテレビで取り上げられ、私も見られました。私たちに思ひがけない反応がありました。ありがとうございました。

三月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生
三月一日（火）午前十時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生
三月十一日（金）午前十時～十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
三月十五日（火）午前十時～午後四時迄

◆月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
三月十五日（火）午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆茶の湯 よもやま話 伏見章先生

◆茶の湯 よもやま話 伏見章先生
三月二十二日（火）午前十時～

◆ヤングヤング（子供茶の湯講座）
毎月第二、第四土曜日

◆和菓子講座 高橋初乃先生
三月十二日（土）二十六日（土）午前十時～

◆和菓子講座 高橋初乃先生
三月十二日（土）二十六日（土）午前十時～

四月

◆和菓子講座 高橋初乃先生
四月八日（金）午前十時～十二時

◆晴友会研修会 北村美術館
四月十八日（月）

財団行事予定

（三月～五月）

江戸時代、歌舞伎劇場の木戸口の台の上で演目の名題役割を読み上げたり、役者の声色（こわいろ）などを使つたりして景気をあおり、客を集めた芸人。当時は小屋の客寄せ役。当時では職業として成り立っていたが、今は絶滅した職業といえる。

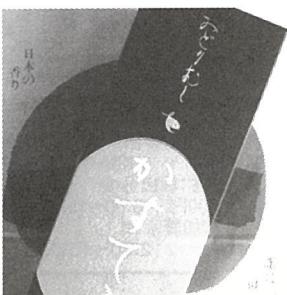
みどりむし?

最近話題のお菓子は何か無いかな?と探していく見つかったのが「みどりむしのカステラ」。

でも「みどりむし」ってことで調べてみました。「ミドリムシ」とは、ミドリムシ植物門 ミドリムシ綱 ミドリムシ目に属する鞭毛虫の一種である「やっぱり虫?いや、どうも雰囲気は植物性プランクトンみたいですね。しかもビタミン、ミネラル、アミノ酸、カロテノイド、不飽和脂肪酸など、実際に59種類もの栄養素を備えているらしく、クロレラよりも栄養バランスが良いらしい。

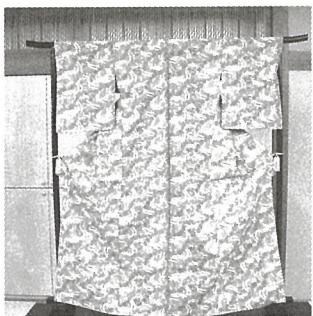
その「みどりむし」を使ったカステラを作ったのがくつわ堂。みどりのイメージで味付けは緑茶なので食感は緑茶カステラそのものです。でも、一切れの中に2億個以上の「みどりむし」が含まれているとか。

「美味しいモノを食べて健康に」一度おためし下さい。



くにもの (6)

「鎌倉芳太郎」



本田郡水上村(現・三木町)出身の鎌倉芳太郎は、大正十一年、女学校の美術教師として沖縄に赴任しました。二年間の滞在中にかつて琉球と呼ばれた王国の歴史や文化に触れて感動し、現地調査による貴重な写真や鎌倉ノートとよばれる記録、蒐集品などを残します。これが礎になつて本格的な琉球芸術調査事業が行われ、やがて、何度も存亡の危機にあいながら今日に復元された世界文化遺産の首里城に至ります。

また、途絶えていた沖縄の紅型(びんがた)の再生に尽力し、自らも作家として重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けて、日本伝統工芸展に出品していましたから、香川での巡回展で作品を見る機会は度々あったのですが、「三豊市の呉服・ふくおかで芳太郎のすてきな型絵染紬地長着を見つけました。

「蕉葉白雨」と題して、南国の色とりどりの芭蕉の葉を軽やかに舞い立たせた図柄の中に細く降る雨を白く染め抜いた、精緻な技の惜しみない披露ぶりに、研究学者肌の美術家・芳太郎の人柄が偲ばれました。

早い段階から私たちと交流があり、何度も飲食をともにすることになりました。看板俳優との交流は長いこんぴら歌舞伎の歴史でもそうそうないと聞いていました。しかし勘三郎さんは、地元で頑張る私達を大そうご評価いただきました。しかも地戸芸者の話をする「千秋楽に見てあげるよ。」といわれ、本当に来ていただき、なんと「よつ、ラーメン屋」と役者さんに大向こうを頂くといふ珍事まであり、大勢つめかけたお客様とともに、大いに盛り上がりました。

私は、この木戸芸者をきっかけに「こんぴら歌舞伎は地元の方々に一人でも参加してほしい。」と思い、まずは、小学生に挑戦してもらうことになりました。こんなピックイベントに子供たちが参加することは、郷土を見つめ、また、他町にはない体験ができる機会を有効に活用してほしいと思いました。子供たちは想像以上に上達は早く、意欲的でした。「琴平に来た客さんに喜んでもらいたい。」という発言が出ました。これがおもてなしの心ではないでしょうか?こんな田舎で日本の伝統文化に触れ、また感じてもらえることは、贅沢かもしれません。ぜひ、そんな私達や子供たちを見に、こんぴらに来て見まい!



五月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

五月三日(火)午前十時~午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

五月十三日(金)午前十時~十二時

◆月に一度の喫茶室 每月第三火曜日

五月十七日(火)午前十時~午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆茶の湯 よもやま話 伏見章先生

五月二十四日(火)午後二時三十分

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

五月十四日(土)~二十八日(土) 午前十時~

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合せは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一二
(087) 826・3355

ランチは要予約です。

自由なお時間にお出掛け下さい。

茶華道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

3/19 玉楮象谷忌茶会 席主:安部流洗心会四国支部
玉藻公園披雲閣 900円(入園料別) 9:00~15:30

一茶庵流香川県支部 ☎(087)835-3140

4/10 栗林公園 月金 席主:一茶庵流香川県支部
掬月亭 500円 9:00~16:00

表千家同門会香川県支部 ☎(0875)83-3785

3/6 茶の湯文化市民講座「大西清右衛門 茶の湯金の美と鑑賞」
席主:表千家同門会香川県支部
高松市生涯学習センター 無料
13:00~15:00

3/20 玉楮象谷忌茶会 席主:眞子宗博
玉藻公園披雲閣 900円(入園料別) 9:00~15:30

3/29 茶会と生け花展 席主:表千家同門会香川県支部
天満屋 500円 10:00~16:30

5/8 東讃四季茶会 席主:大山宗愛
中條文化振興財団 500円 9:00~15:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

3/13 月釜 裏千家 席主:田中宗武
松尾寺 500円 9:00~15:00

5/8 月釜 武者小路千家 席主:山下教子
松尾寺 500円 9:00~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

3/13 月釜 琴平 席主:田中宗武
松尾寺 500円 9:00~15:00

3/13 月釜 善通寺 席主:山下宗由
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

3/27 香川支部利休忌 席主:坂出分会
坂出ふれあい会館 2,000円 10:00~15:00

4/3 月釜 觀音寺 席主:加藤宗和
働く婦人の家 500円 12:30~15:30

4/17 善通寺正御影供 席主:善通寺教授者
善通寺 500円 10:00~15:00

4/29 瀬戸大橋展望茶会 席主:坂出分会C班
瀬戸大橋記念公園 300円 10:00~15:00

5/4 丸亀お城まつり 席主:時岡宗芳
丸亀市民会館 500円 10:00~15:00

5/15 月釜 坂出 席主:中村宗真、荒木宗統
坂出勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)881-2818

3/6 裏千家淡交会月釜 席主:井川宗素、正箱宗英
中野天満宮 前売500円・当日600円
9:00~16:00

3/25 天満屋 茶席 席主:高畠宗稔
天満屋高松 500円 10:00~16:00

4/3 裏千家淡交会月釜 席主:吉岡宗郁
中野天満宮 前売500円・当日600円
9:00~16:00

5/7 裏千家淡交会月釜 席主:吉野宗倫、久保宗佳、篠浦宗真
中野天満宮 前売500円・当日600円
9:00~16:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)888-5311

3/24 第10回春季いけばな展と茶会 席主:檀原恵玉
高松天満屋 500円 10:00~16:00

石州流譜岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

3/26 第10回春季いけばな展と茶会
席主:石州流譜岐清水派和敬会有志
高松天満屋7階 500円 10:00~16:00

4/3 創立74周年記念茶会 席主:筒井宗梅、和敬会有志
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:30

4/10 第82回観櫻茶会 席主:ゆずり葉の会
與田寺(東かがわ市) 1,000円 9:00~15:00

4/24 きりしま茶会 席主:三兎会
屋島神社 1,000円 9:00~15:00

高松市茶華道協会 ☎(087)881-7383

3/24~29 春季いけばな展と茶会 高松天満屋7階催場
いけばな展:12流 500円 10:00~19:00
茶席席主:茶道石州流琴松会(24日)・
茶道裏千家淡交会高松支部高畠宗稔(25日)・
石州流譜岐清水派石州会(26日)・
江戸千家不白会香川支部(27日)・
武者小路千家香川官休会(28日)・
表千家同門会香川県支部(29日)
500円 10:00~16:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

3/27 月釜 席主:川地カズエ(裏千家)
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

4/3 月釜 席主:鈴木浩子(裏千家)
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

5月 月釜 席主:小池公江(官休庵)
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

3/6 香川官休会 月釜 席主:小池公江
無量寿院 500円 9:00~15:00

4/3 高松栗林ライオンズクラブ 第45回日暮茶会
席主:溝渕守保 栗林公園掬月亭
1,000円 9:00~15:00

5/1 香川官休会 月釜 席主:沖トヨ子
無量寿院 500円 9:00~15:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<第2研修室>
3/13 由佐城月釜茶会 席主:綾野宗悦(石州)
前売300円・当日400円 10:00~15:00
4/10 由佐城月釜茶会 席主:窪田宗房(表千家)
前売300円・当日400円 10:00~15:00
5/8 由佐城月釜茶会 席主:濱宗喜(裏千家)
前売300円・当日400円 10:00~15:00

上記予定は変更する場合もあります。

イベントガイド

とらまるパベットランド ☎(0879)25-0055

4/3、17、29、30、5/25~29 「カミナリさまのおしごと」「村をすくった鬼」
とらまる人形劇団 平日10:30~、土・日・祝13:30~●

5/1~5 ゴールデンウイーク・イベント
割引セット券購入のお子様にプレゼント有 「わくわくばわわんシアター」

5/11~15 「のんのんのなんとちびうさぎ」「おひさま」
人形劇団えりっこ 平日10:30~、土・日13:30~●

5/18~22 「風邪をひいた貧乏神」
人形劇団ばんび 平日10:30~、土・日13:30~●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

3/20 日本舞踊 都美絃会おどり初め 13:00~ ■
5/21 劇団カッパ座 坂出公演 14:00~ ●

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

3/13 チャイルド・ミュージックコンサート
ホール 10:00~ ■

4/24 第46回多度津芸能音楽祭
ホール 12:00~ ■

丸亀市教育委員会文化課 ☎(0877)24-8822

3/20 MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクトVol.9
MIMOCAゲートプラザde雑貨店
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ
10:00~ ■

3/26 平成22年度丸亀市若手芸術家支援事業
ソープラノ・谷原めぐみコンサート
「歌曲とオペラアリアに酔いしれる春の午後」
丸亀市綾歌総合文化会館 14:00~ ●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755

3/6~5/15 杉本博司 アートの起源 建築 10:00~ ●
3/6~5/15 猪熊弦一郎展 10:00~ ●

丸亀市綾歌総合文化会館(アレックス) ☎(0877)86-6800

3/19 小林幸子コンサート2011
大ホール 14:00~、18:00~●

3/26 ソープラノ・谷原めぐみコンサート
大ホール 14:00~ ●

3/26 第8回詩のボクシング・第1回声と言葉の
ボクシング本戦 小ホール 14:00~ ●

4/10 カラオケ発表会 大ホール 9:00~ ■

4/17 全国吟詠コンクール香川県予選大会
大・小ホール 9:00~ ■

4/24 第14回大正琴の集い
大ホール 12:00~ ■

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

3/5~4/17 「色の力展」「古事記」「日本書紀」
には日本最古の色彩語とされる「あか、くろ、
しろ、あお」が記載されており、これらの色
を中心として様々な資料からそれぞれの色に
込められた想いや時代背景などを探しご紹
介致します。 1階展示室 9:30~ ■

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

<大ホール> 甦れ!青春グラフィティーおやじバンドコンサート
13:00~ ●

3/20 第1回丸亀・水森英夫杯
カラオケ選手権大会 入賞者コンサート
大ホール

決勝出場者10:00~、入賞者13:30~ ★

3/27 丸亀市少年少女合唱団
第9回定期コンサート 大ホール 14:00~ ●

ぎゃらりい風 ☎(0877)86-2112

3/11~13 河村弘子と仲間たちの手作り作品展(手芸作品など)
10:00~ ■

4/5~17 入船博風 匠の手わざ展
杉や桧を使い創作たんす、置物等
10:00~ ■

5/3~15 三村昌哲、則子 二人展
ドライポイント作品、型染作品等
10:00~■

5/24~29 キミ子方式で描く 私にも描けました展
漆原万理子 水彩画 10:00~■

炎まん美術館 ☎(0877) 75-3000

3/4~8 あかね保育園児作品展 9:00~■

3/11~15 書道と刺繡の二人展 9:00~■

3/18~22 上野剛児陶展 9:00~■

3/25~29 藤田睦子書展 共催NPO空海 9:00~■

4/1~5 花あとりえ展 9:00~■

4/8~12 香川県漆芸研究所卒業生卒業展 9:00~■

4/15~19 龍王窯 グループ展 9:00~■

4/22~26 第2回茶の花絵手紙展 9:00~■

4/29~5/4 朝田哲大作陶展 9:00~■

5/6~10 ポジャギ作品展 9:00~■

5/13~17 第26回譜岐木楽会作品展 9:00~■

5/20~24 田中将博ガラス展 9:00~■

5/27~31 土洋会作品展 9:00~■

わが家ギャラリー木きん堂 ☎(0875)63-4920

3/1~13 「ココロとカラダにやさしい服」
Tomoの服装(デザイナー-Tomoがタイで
出会った草木染・手織りの布を使った洋
服の展示・販売) 9:45~ ■

3/15~27 「プリザーブドフラワーと革のコラボ」
(プリザーブドフラワーと革の第2回コラボ展)
9:45~ ■

4/26~5/8 「手描友禅俱楽部展」
(友禅の額・ハンカチ・タペストリー等の展示・販売)
9:45~ ■

イベントガイド

アルファあなぶきホール ☎(087)823-3131

<小ホール>

- 3/5 ミュージカル「アプローズ」
出演:前田美波里、上田亜希子、佐野瑞樹、澤乃せいら、倉石功 他 17:00~●
3/9 宮本笑里リサイタルツア-2011 19:00~●
3/27 KJO合奏コース公開レッスン&基礎コース発表会 13:30~■
4/20 陽春特別公演
劇団若獅子VS市川亀治郎 14:00~●
<大ホール>
3/8 マッスルミュージカル2011 JAPAN TOUR
高松★特別公演 18:30~●
5/4 <こどもちゃれんじ>コンサート
しまじろうみんなでたんけん!みなみのしま 12:00~(1回目)、14:30~(2回目)●

香川県立ミュージアム ☎(087)822-0247

- 1/21~4/3 日本国四季折々の風景
企画展示室4、5 9:00~●
2/25~4/17 美一徳川一門の象徴、そのかたちと使い方一企画展示室1 9:00~●
1/2~4/17 和船を造る一国指定「瀬戸内海の船図及び船大工用具」の世界一企画展示室2 9:00~●

高松市美術館 ☎(087)823-1711

- 1/8~3/27 第5期常設展「幻影の身体ー新収蔵作品を中心に」工芸に見る初春 常設展示室 9:30~●
2/18~3/27 世界の絵本作家展Ⅲ
~絵本の世界へ旅しよう~
一般企画展示室 9:30~●
3/5 ワークショップ「袋でお面をつくろう!&ミニ絵本ライブ」
講師:長谷川義史(絵本作家)
講座室3、4 13:00~(定員20名)●
3/5 長谷川義史サンイン会 2階展示室入口 15:00~(50名限定)■
3/6 エントランス ミニコンサート エントランス 11:00~、13:30~■
3/13 記念講演会「感動を絵本に」
講師:どいかや(絵本作家)
講堂 13:00~●
3/13 どいかやサンイン会 2階展示室入口 14:30~(50名限定)■
3/20 子どものアトリエ「かけ絵本シリーズ」
③楽器絵本「本だけど…」
講師:川崎展子(美術家)
講座室2 10:00~(定員20名)●
3/21 おやこミュージアム・コンサート
講堂 13:00~、14:30~(事前申込要)■
4/15~5/29 トリックアートの世界展
一般・企画展示室 9:30~●

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

- <サンクリスタル高松>
2/15~3/27 「菊池寛記念館'11コレクション展」
テーマ:菊池寛の家系について~
生原稿にみる菊池家先祖~
3階研究閲覧室 9:00~■
3/5 菊池寛記念館「文芸講座」
テーマ:諱岐における菅原道真
講師:和田浩 3階第1集会室 13:30~■
3/12 朗読劇「菊池寛劇場」
~菊池寛の名作を聞いて見て楽しむ朗読劇~
3階視聴覚ホール13:30~(先着200名)■

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

- <サンクリスタル高松>
2/2~3/21 左近さんが居た幕末一松平頼該とその周辺ー
4F企画展示室 9:00~●
4/16~5/29 城下町の水源一発掘された戸井戸(仮称)
4F企画展示室 9:00~●
3/13 「香翠座デコ芝居」 3F視聴覚ホール 13:30~■

玉藻公園 ☎(087) 851-1521

- 3/12~4/10 植木市 二の丸跡
4/1~10 桜見物夜間開放 桜の馬場
5/5 玉藻公園一般開放記念・無料開放
披雲閣・桜の馬場 ■
<披雲閣>
3/4 津軽三味線と民謡のタバ
3/5 マイシアターまつり
3/19~20 香川の漆器まつり
4/3 石州会創立記念茶会 席主:筒井宗梅
和敬会有志 1,100円 9:00~15:30
5/27 菊作り講習会

5/29 かまと茶会
ミュースホール ☎(087)833-0013・0014

- 3/12 落語と節談のつどい 仏の道も笑いから 13:30~●
3/27 第15回ミュースホール春の音楽祭 13:00~■
4/24 第8回 ダンスカンパニーウィズ公演
コンテンポラリーDANCE&ART [紙(paper)] 15:30~●

高松市教育委員会文化財課 ☎(087)839-2660

- 3/19 佐藤繼信・真念墓前祭と記念講演会
繼信墓地公園及び洲崎寺(牟礼町) 10:00~■

<ふるさと探訪>
3/13 「一宮から円座へ 旧金毘羅道と香東川を歩く」
ことでん一宮駅(琴平線) 9:30~■

高松市国際文化振興課 ☎(087)839-2636

- <サンポートホール高松>
3/13 瀬戸フィルハーモニー交響楽団
モーツアルト「レクイエム」
大ホール 14:00~●
4/25 二兎社公演「シングルルマザーズ」
大ホール 19:00~●
5/5 ごとの日のごとのためのコンサート
第2小ホール 14:00~■
5/28~6/26 高松市民文化祭アーツフェスタかまつ2011
サンポートホール高松他 時間・料金は事業により異なる

茶房 四季 ☎(087)822-9010

- 3/1~31 山本弘文写真展 四季ギャラリー 7:00~■
4/1~30 山庄司巖写真展 四季ギャラリー 7:00~■

ヨンデンフルサ高松 ☎(087)851-3863

- 3/1~6 「第14回古高松絵画同好会作品展」
会員20名による水彩画他20点の展示 10:00~■
3/15~20 「はがき絵展」
会員30名によるはがき絵約80点の展示 10:00~■
3/22~27 「陶芸作品展」
会員10名による陶芸作品約100点の展示 10:00~■

3/29~4/3 「じーばクラブ水彩画展」
会員による水彩画約30点の展示 10:00~■

- 4/12~17 「サミュゼ第IX回展」
会員7名による絵画・写真約30点の展示 10:00~■
4/19~24 「ミニチュアクラフト・ドールハウス展」
会員40名による作品約100点の展示 10:00~■
4/26~5/1 「MELGA・CLUB(メルガクラブ)絵画展」
会員9名による絵画約40点の展示 10:00~■

- 5/3~8 「同好会炎の華作陶展」
会員25名による陶芸作品約100点の展示 10:00~■
5/17~22 「青洗書会展」
会員12名による書作品約20点の展示 10:00~■
5/24~29 「サボテン・多肉植物展示品評会」
会員60名によるサボテン・多肉植物約150点の展示 10:00~■

(有)かわり園 ☎(087)821-5957

- 3/9~13 古今茶之湯総合展 恒例となりました
新古茶道具五百余点を一同に展示即売いたします
(特価コーナー設置) 福善寺2階 10:00~■

ギャラリーen ☎(087)851-3711

- 3/3~13 立原位貴 木版画展 10:00~■
4/5~11 設楽享良 作陶展 10:00~■

杜のとなり ☎(087)823-1152

- 5/25~31 ZAZA CHAPEAU 池田かよ 帽子展 11:00~■

桜ショッフ高松店 ☎(087)831-8866

- 5/12~18 川岸富士男「四季の草花譜展」
紫陽花や菖蒲等、梅雨から初夏にかけての額装や軸 10:00~■

3/24~30 古井敏博 紬織展
紬織の着物、マフラー等 10:00~■

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

2/22~3/13 第10回郷土の文化拓本展
2F市民ギャラリー 9:00~■

3/19~4/3 魚拓展 1Fロビー・2F市民ギャラリー 9:00~■

<第2研修室>
3/13 由佐城月金茶会 席主:綾野宗悦(石州)

前売300円・当日400円 10:00~15:00

4/10 由佐城月金茶会 席主:窪田宗房(表千家)

前売300円・当日400円 10:00~15:00

5/8 由佐城月金茶会 席主:濱宗喜(裏千家)

前売300円・当日400円 10:00~15:00

高松市塩江美術館 ☎(087)893-1800

<常設展>
1/18~4/17 平成22年度第Ⅲ期 常設展
川島猛展 9:00~●

<企画展>
2/11~3/27 JUNK to ART ジャンクとアート
横塚登展 9:00~●

<イベント>
3/13 JUNK to ART ジャンクとアート
横塚登展関連ワークショップ「JUNK BOXをつくろう」

14:00~(要申込)●

3/26 「春色のプレートづくり」 講師:貴志勉
10:00~、14:00~(要申込)●

3/27 THE 上機嫌 LIVE 15:00~●

高松市石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

3/11 古文書を読む会(11)
講座研修室 14:00~(教材費要)■

3/19 スプリングコンサート
地行美保&PianoTrio華音 エントランスホール
18:00~●

3/19~4/10 黒髪を彩る~櫛・簪・笄の美~展
企画展示室 9:00~●

手造りの蔵 鈴丸 ☎(087)898-7307

2/23~3/21 第2回手造り小物いろいろ展
材料は木、絹糸、銅、布などを使いおもちゃ、アクセサリー、帯じめ、ストール等各種素材

を生かした作品をお楽しみいただけます
9:30~●

鳳凰企画ブルーフェニックス ☎090-3460-3202

3/6 クリスタルボウルヒーリングコンサート
「雛の舞とクリスタルな世界」

ヒーリングエンターティナー ブルーフェニックス
玉藻公園 薩鉄の間 14:00~●

(財)三木町文化振興財団 ☎(087)898-9222

3/21 みき少年少女合唱団 定期演奏会
一部:「世界のうた」、

二部:岡本正作品集より「故郷をうたう」
三木町文化交流プラザメタホール
14:00~●

とらまるバベットランド ☎(0879)25-0055

3/2~6 「マンモスのいた地球ーほしー」ほか
バベットシャターらせんくらぶ
平日10:30~、土日13:30~●

3/13、4/10、5/6~8 「飛びだしたあられ馬」「どんでんぬきがえし」
とらまる人形劇団 10:30(5/6のみ)、13:30~●

3/19~27 人形劇ミュージアム8周年記念行事
春休みとらまるバベットフェスタ・2011

・新作ワークショップ(材料費別)

人形劇ミュージアム 10:00~●

・バベットアートのあゆみ展<企画展示室>

人形劇ミュージアム 10:00~●

3/19、25 「カミナリさまのおしごと」他
とらまる人形劇団 13:30~●

3/20 「風邪をひいた貧乏神」
人形劇団ばんび 13:30~●

3/21 「ゴリゴリ、ゴリくん!」他
バベットシャターらせんくらぶ 13:30~●

3/23、24 「飛びだしたあられ馬」他
とらまる人形劇団 13:30~●

3/26 「ねればやまのちいさなにんじや」他
人形芝居くりちゃん 13:30~●

3/27 「したさりすづめ」他
よろず劇場とんがらし 13:30~●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第70号は6月1日発行です。次の期間(6月1日から9月末日)の情報を5月10日までにお知らせ下さい。

上記予定は変更する場合もあります。

☎(087)826-2212

■財団の活動報告とお知らせ

沢山頂いて、改めて本茶会を実現して下さ
つた皆様に感謝申し上げる次第です。

日時 六月十二日 午前十時より
場所 サンポート七階 (受付及び干菓子)

夢の跡。北村美術館茶会

今年度4月には公益法人認定。11月に
香川県文化芸術選奨の受賞を記念して企
画いたしました京都・北村美術館による素
晴らしいお茶会が、去る2月6日、7日の二
日間に渡り行われました。

四国上陸は20年ぶりと言われた館長の
木下収氏を始め、財団でも毎年茶事をして
下さる蘇鉄庵の水守清隆氏ほか水屋の皆
様は、全15席に渡るハーデなスケジュールに
も関わらず、終始気持ちの良い茶席をして
下さいました。貴重なお道具の数々を高松
までお持ち頂いての素晴らしいお茶席に、参
加して下さったお客様も満足していただけ
たと思います。

全てが終わって、お道具がいよいよ京都に
帰るときはなんとなく「強者どもの夢の跡」
と言う感じで、心地良い疲れが残りました。
お道具が美術館に着いたと言う連絡を頂
いて初めて緊張が解けました。

驚いたのは当日、お約束の「お年玉」が点
心席に、飾られました。肌も美しい東山御
物の「古天命碎銭釜」には、なんと炭が入り
ました。また、点前

座の中央には大名
湯がわかされてい
ました。

物「千葉鶴 正田筒」
が展観。薄茶席で
替茶碗として使わ
れた永楽即全作の
かなり精巧な「正
田筒写し」との比
較も心憎い演出で
した。

後日、お客様か
ら感動のお手紙も
きました。



■蘇鉄庵茶事のご案内

財団の茶室を建てた木下孝一棟梁の初釜
(平成二十年)以来の縁で、毎年恒例とな
って参りました京都知恩院側にある蘇鉄
庵の主、水守清隆氏、康隆氏による茶事を、
今年は六月初旬にお願いする事となりま
した。

「茶の湯は茶事に有り」を常日頃実践さ
れるお二人のお席は、素晴らしいお道具も
されることながら、床の花や、心づくしのお菓
子に至るまで新鮮な驚きの連続で、数寄者
の茶事を楽しませて下さいます。流派にこ
だわらず気軽にご参加下さいとのお言葉も
頂いております。会場は美藻庵・晴松亭で
す。日程の詳細は別途ご案内いたしますの
で、期待下さい。

友の会「晴友会」

更新手続きについて

「晴友会」の皆様には日頃大変お世話
になりありがとうございます。

さて、今年も4月の更新時期が参りました
。引き続き更新を希望して頂ける
方は、同封の郵便振替用紙にてお振込を
お頼み致します。昨年12月以降にご入
会頂いた方は、次年度分として承ります
ので更新の手続きは必要ありません。
今年も大茶会を始め、研修旅行など
さらに充実して参りたいと思います。皆
様のご意見ご協力を引き続き賜りますよ
うお願い申し上げます。

期 年会費 平成23年4月1日から
間 三千円 平成24年3月31日まで

ありがとうございました

香川県文化芸術選奨のお祝いと、財
團活動への賛同として左記の皆様よりご
寄附を頂きましたのでご報告致します。

ご芳志を感謝いたしまして、今後の財
團活動のために使わせて頂きます。

厳しい寒さの中、大人も子供も、
鼻先やホツベタを赤くしていつしょ
うけんめいにがんばっている。
♪：春よ来い…♪

〔声・情報お寄せください〕

〒760-0017 高松市番町二丁目一一二
公益財団法人 中條文化振興財団編集部
TEL (087) 8026・3355
FAX (087) 8026・2012
info@chujo-zaidan.or.jp

編集後記

新しい年になつてから、寒波が日
本列島にやつてきた。北国や日本
海側の人たちは、毎日雪の対応に
追われてたいへんだろうなと思って
いたら、四国にも雪が降つた。高松
では二十五年ぶりの積雪だとか。

街中では、駐車場の車のボンネット
の上に、また、郊外では、家の門
前やブロック塀の上などに束の間の
雪を楽しむように、小さな小さな
雪だるまがつくられていた。

北国では、豪雪の中、春を待つさ
まざまなお祭りや伝統行事が行
われている。